



世田谷区社協キャラクター
ココロン

世田谷区ファミリーサポートセンター

開所時間：午前8時30分～午後5時15分（土日祝日、年末年始を除く）

〒157-0066 世田谷区成城6-3-10 4階 電話：03-5429-1200 FAX：03-5429-1202

ホームページ：<https://www.setagayashakyo.or.jp/service/kosodate/>

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、世田谷区から世田谷区社会福祉協議会が受託運営しています。

継続利用のための「春の打ち合わせ」実施のお願い

- ★ 毎年3月～4月に、利用会員と援助会員の両者間で最新情報を共有するため、利用会員が「打ち合わせ表」を改めて作成し、双方で確認し合ってください。
- ★ 打ち合わせ表の有効期限は作成日の翌年3月末までです。
- ★ 「打ち合わせ表」はホームページからダウンロードするか、会員のしおり（22ページ）をコピーしてください。
- ★ 利用会員は、内容を共有した後、必ずコピー（または写真撮影）して保管してください。



事前打ち合わせ表作成のチェックポイント

- 表の右上に「打ち合わせ日」を記入
- 子どものアレルギーやかかりやすい病気、障害など
- 子どもの通園・通学先
- 保護者の通勤先や電話番号
- その他の緊急連絡先
- 災害時の対応や連絡方法
- 有効期限後の処理方法について（利用会員に返却か破棄か）

- しばらく利用予定がない場合は、利用再開時に打ち合わせ表を作成し直してください。
- 活動内容が変わる場合は、事前にアドバイザーに連絡してください。

R8. 4月～ 対象児の預かり開始の月齢が変わります

令和8年3月31日まで … 生後43日から



令和8年4月1日から … 生後5か月から

現在利用中の方、3月31日までに会員登録とお住まいの地域のファミリーサポートに利用申込みされた方は、生後5か月未満でも4月以降利用可能です。

令和7年3月31日までに会員登録をした方へ ファミサポ会員登録 更新手続きのお願い（至急）

- 会員登録は毎年3月末で失効します（会則第12条）。
4月以降も継続を希望する方は毎年更新手続きが必要です。
※令和7年4月1日以降に登録・再登録した方は手続き不要です。
- 手続きをしないと3月末で「退会」となり、退会後に活動・利用した場合、事故が起きても保険の対象外になります。
- 書類が届いている方は至急手続きをしてください。
書類が見当たらない場合はすぐにセンターに連絡してください。



援助会員交流会

「援助活動のヒント」

「活動のヒント」の一部をご紹介します。



援助会員交流会では
「活動のヒントを持ち寄ろう！」
をテーマに、
日頃工夫していることを
出しました。

★「モノ」のヒント★

- 0、1歳児のときはキラキラ素材を入れた小さなペットボトル（センサーボトル）を持っていく。
- 片面のチラシなど、いらぬ紙を必ず持っていく。くちやくちやにして音で遊んだり、メモしてごっこ遊びをしたりします。小学生は、写し絵、動物探し、文字探しなど。
- ハンカチは、子ども（0、1歳児）が泣いたとき、ひらひらふわふわすると、子どもが泣き止み、お母さんにも「身近なものでこんなに喜ぶんですね」とびっくりされたことも。

★アイデアのヒント★

- 子どもと最初から約束をしておく。利用会員とも事前によく話し合うことが大切。（手をつなぐ、走らないなど）
- 子どもの好きなことを聞くと、たいてい子どもがお話をたくさんしてくれて楽しく過ごせます。



～気をつけていますか？ 援助者としての身支度～

活動中、お子さんが援助者と触れる場面が多くあります。

大切なのは「清潔であること」「活動的であること」「一緒にいて心地よいこと」「危険がないこと」です。

預かる子どもの年齢や援助内容をイメージして、安全な活動ができるように、ご自身の身支度を振り返ってみましょう😊

【良い例】

清潔を心掛け、
長い髪は
束ねましょう。

爪は子どもの顔を
傷つける場合がある
ため、切りましょう。

化粧の成分が子どもの
肌に触れぬよう最低限に。

アクセサリーは、子どもに触れ
たり、引っ張られたりしないよう
身に着けない方が安全です。

靴は緊急時に、
確実な行動が
とれるように
しましょう。

その他
まめに手洗いをしましょう。
柔軟剤の香りや、たばこの
匂いはついていませんか。

【悪い例】

不適切なところを
探してみましょう。



参考文献：一般財団法人 女性労働協会「育児サポート4」

折り返しのお電話をお願いします

アドバイザーや子育て支援専門員が会員のみなさまに何度、電話をかけてもつながらないことがあります。地域社協事務所やセンターから着信履歴があった場合は、お手数ですが折り返しご連絡いただけると助かります。

お住まいの地域社協事務所やセンターの電話番号を携帯電話やスマートフォンにご登録ください。よろしくお願いいたします。



令和7年度ファミサポ事業報告

フォローアップ研修

「乳児の発達と世話」をテーマに、助産師から乳児の発達や姿勢、離乳食、また人形を使って、抱き方、おろし方のコツも具体的に学びました。



フォローアップ専門研修 「緊急救命」「事故防止」「虐待防止」に関する研修

4回開催

乳幼児に特化した緊急救命講習の専門講師による指導で、人形を使いながら心肺蘇生や異物除去を実際に体験しました。

事故防止（ヒヤリハット）講習では、子育て支援専門員等から事例に基づく事故予防のポイントなどを学び、隣席同士のワークで新たな気づきの機会となりました。

今年度より新たに「虐待防止」に関する研修が追加となり、オンラインで実施しました。



子育て援助活動入門講座 「大人がたのしむ絵本時間」

2回開催

絵本セラピスト協会認定絵本セラピストでもある援助会員から、絵本を通して、自分を見つめ直したり、新たな気づきの時間になりました。また講師から、活動に関するやりがいやエピソードを伺い、ファミサポに対する理解を深めるきっかけとなりました。



子育て支援者養成研修

会場 開催4回
オンライン 開催2回

援助会員として登録するための「子育て支援者養成研修」を開催しました。援助会員として安全な活動に必要な知識を学び「わかりやすい講義で、活動に不可欠な内容ばかりだった」「安全がいかに大切がわかった」という声が聞かれました。

「預けてみよう」体験事業

計5回

まだファミサポを利用したことがない保護者を対象に、生後5か月～2歳未満の子どもを援助会員に1時間ほど預ける「預けてみよう」体験事業を実施しました。保護者は久しぶりに自分の時間を過ごし、「短い時間でも心に余裕が生まれた」「安心してリフレッシュできた」といった声が多く寄せられました。子どもたちも援助会員に抱っこされたり遊んだりしながら穏やかに過ごし、預けることへの不安解消につながる良い機会となりました。



利用会員交流会

1回開催

ファミサポの利用について、参加した子どもたちに協力してもらいながら事業の内容を再確認しました。「親子で体を動かそう」では、会場を広く使って走ってジャンプして、投げて、くぐってと全身を使って遊ぶことができました。

参加者からは、「安心して参加できた、ファミサポ利用の際のポイントを確認できた」「子どもが目一杯楽しめた」「いっしょに体を動かして楽しかった」との感想がありました。



ファミサポ 利用/活動中 会員さんにインタビュー!

2歳の双子のお子さんがある南條さん。令和6年3月にファミサポへ登録されました。

通院時の預かりや、検診の付き添いなど、月に1回ほど柿戸さんをお願いしています。今日はおでかけひろばで一緒に過ごしました。



ファミサポ利用中

利用会員 南條 桃名 さん
あこ 杏光 ちゃん りこ 李光 ちゃん (2歳)

○ 利用会員に登録したきっかけをお聞かせください

1か月健診で保健師さんに勧められました。主人が長期出張で近くに頼れる人がいないため、生後1か月で登録しました。

○ 利用してみた感想をお聞かせください

健診や予防接種、児童館や保育園のイベントなどに同行していただき、とても助かりました。

○ 援助会員さんへ、伝えたい思いやエピソードがあれば、教えてください

一緒に成長を見守ってくれてありがたく思います。双子だからとさまざまな機会をあきらめることなく、外出する勇気をもらえました。

○ これから利用したいと考えている方へ伝えたいこと

初めて頼るときは不安もあると思いますが、安心して利用してください。私も素敵な出会いや支えをいただき、とても助かりました。



ファミサポ活動中

援助会員 柿戸 由美子 さん

○ 援助会員に登録したきっかけをお聞かせください

先輩援助会員の方からお話を聞き、短い時間なら都合をつけやすいこともあり、チャレンジしてみたいと思いました。

○ 活動にあたり、一番大切にしている点を教えてください

活動では、子どもにケガをさせないよう安全管理に気を付けています。動きが予測できないので、さまざまなシミュレーションを行い、いつも初対面の気持ちで接するようにしています。

○ 利用会員さんへ伝えたいメッセージをお聞かせください

「双子で移動が難しいけれど、できる限り多くの成長の機会を与えてあげたい」という思いに応えるために、ここに行くにはどうすればいいかな?と、一緒に考えてたくさん挑戦しましたね。いつも前向きな姿勢が素敵です。

○ これから援助会員として活動を考える方へ伝えたいこと

ママとパパのゆとりや笑顔が、お子さんにとって一番大切です。利用会員さんの「ちょっと手伝って」に応えられるように、ぜひ援助活動にチャレンジしてみてください。